

# 平成 28 年度 岩手県における消費生活相談の概要

## ( 目 次 )

[主な特徴]	1
1 消費生活相談件数	
(1) 総相談件数	2
(2) 相談種別、相談方法別件数	3
(3) 契約当事者の男女別、年代別、職業別件数	3
(4) 市町村別件数	4
(5) 処理結果	5
2 消費生活相談の内容	
(1) 商品・サービス別件数	5
(2) 内容別件数	8
(3) 年代別における相談の多い商品・サービス	8
(4) 相談の多い販売購入形態	10
[参考資料]	
注視する相談内容、相談事例	11



いわて消費者トラブル防止  
啓発キャラクター「まてのすけ」

平成 29 年 8 月  
岩手県立県民生活センター

## 〔主な特徴〕

- ① 岩手県及び市町村消費生活相談窓口に寄せられた、消費生活相談の総相談件数は 9,732 件で、前年度の 10,470 件に比べて 738 件、7.0%減少しました。
- ② 相談方法別では、電話による相談が 6,832 件(70.2%)を占め、来所による相談が 2,890 件(29.7%)となっています。
- ③ 男女別では、男性からの相談が 4,510 件(構成比 46.3%)、女性からの相談が 4,289 件(構成比 44.1%)となっています。
- ④ 年代別では、70 歳以上が 1,953 件(構成比 20.1%)と最も多く、次いで、60 歳代、40 歳代となっています。
- ⑤ 商品・サービス別(大分類)では、光回線、アダルトサイトなどの「運輸・通信サービス」に関する相談が 2,360 件(構成比 24.2%)と最も多く、次いで、多重債務、借金などの「金融・保険サービス」に関する相談が 1,297 件(構成比 13.3%)と多くなっています。
- ⑥ 年代別における相談の多い商品・サービス(中分類)では、20 歳未満、20 歳代から 60 歳代までの各年代とも、パソコンや携帯電話におけるアダルトサイトやデジタルコンテンツ料金などの「放送・コンテンツ等」に関する相談が最も多くなっています。  
70 歳以上では、「その他の行政サービス」(還付金詐欺、行政をかたる不審電話等)に関する相談が最も多くなっています。
- ⑦ 販売購入形態別では、「店舗購入」が 2,419 件と最も多く、次いで、「通信販売」が 2,344 件となっており、この 2 つで 49.0%を占めています。

本資料は、平成 28 年度(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)に岩手県立県民生活センター(以下「岩手県」とします。)及び市町村(PIO-NET<sup>※</sup>を設置している消費生活センター等。以下「市町村」とします。)に寄せられた消費生活相談の状況について、平成 29 年 5 月 31 日までに PIO-NET に登録されたデータを取りまとめたものです。

※ PIO-NET (パイオネット：全国消費生活情報ネットワーク・システム)

国民生活センターと全国の消費生活センターをオンラインネットワークで結び、消費者から消費生活センターに寄せられる消費生活に関する苦情相談情報(消費生活相談情報)を蓄積しているデータベース

# 1 消費生活相談件数

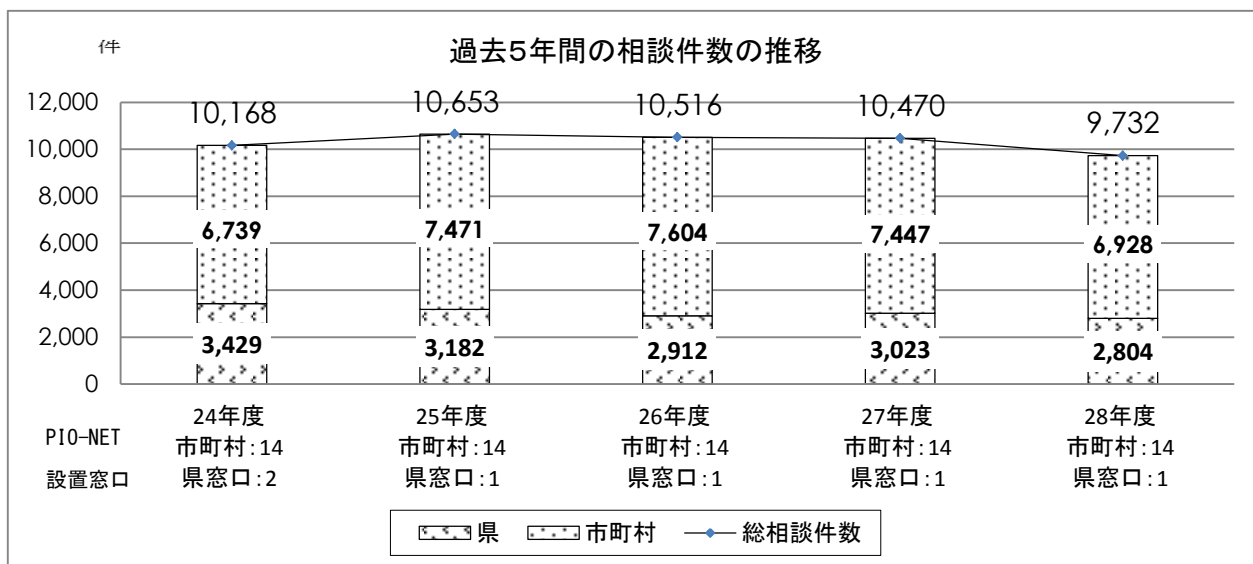
## (1) 総相談件数

- ・岩手県及び市町村に寄せられた消費生活相談の総相談件数は9,732件で、前年度の10,470件に比べて738件、7.0%減少しました。
- ・岩手県に寄せられた相談件数は2,804件で、前年度に比べて219件減少しました。
- ・市町村に寄せられた相談件数は6,928件で、前年度に比べて519件減少しました。

(注)「岩手県」の件数は県民生活センター、「市町村」の件数は各消費生活センター等で受付したものです。(以下同じ。)

【総相談件数】

	27年度	28年度	増減(28-27)	
			件数	増減率
岩手県	3,023件	2,804件	-219件	-7.2%
市町村	7,447件	6,928件	-519件	-7.0%
合計	10,470件	9,732件	-738件	-7.0%



## (2) 相談種類別、相談方法別件数

- ・相談種類別では、苦情が7,980件と総相談件数の82.0%を占め、次いで問合せが1,746件で17.9%となっています。
- ・相談方法別では、電話による相談が6,832件と総相談件数の70.2%を占め、次いで来所による相談が2,890件で29.7%となっています。

### 【相談種類別、相談方法別相談件数】

	相談件数 (件)	相談種類別			相談方法		
		苦情 (件)	問合せ (件)	要望 (件)	電話 (件)	来所 (件)	文書 (件)
岩手県	2,804	2,197	606	1	2,466	334	4
市町村	6,928	5,783	1,140	5	4,366	2,556	6
合計	9,732	7,980	1,746	6	6,832	2,890	10

苦情とは：消費者トラブルが発生している相談。

問合せとは：消費者トラブルが発生していない相談。

## (3) 契約当事者の男女別、年代別、職業別件数

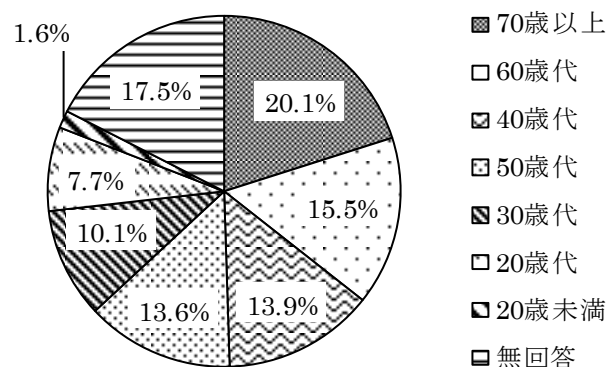
- ・男性からの相談は、4,510件、女性からの相談は、4,289件、総相談件数に占める割合は、男性が46.3%、女性が44.1%となっています。
- ・年代別では、70歳以上が1,953件と最も多く、以下60歳代(1,506件)、40歳代(1,355件)と続いています。
- ・職業別では、給与生活者が3,281件、無職が2,679件で、総相談件数に占める割合は、給与生活者が33.7%、無職が27.5%となっています。

### 【男女別相談件数】

	件数	構成比
男性	4,510件	46.3%
女性	4,289件	44.1%
不明、団体等	933件	9.6%
合計	9,732件	100.0%

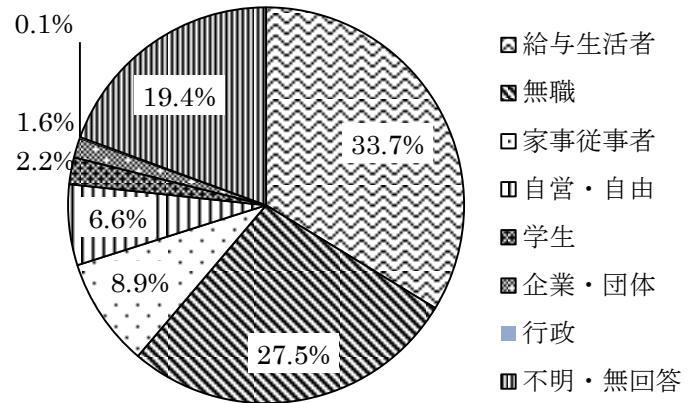
### 【年代別相談件数】

	件数	構成比
20歳未満	158件	1.6%
20歳代	748件	7.7%
30歳代	978件	10.1%
40歳代	1,355件	13.9%
50歳代	1,328件	13.6%
60歳代	1,506件	15.5%
70歳以上	1,953件	20.1%
無回答	1,706件	17.5%
合計	9,732件	100.0%



【契約当事者職業別件数】

	件数	構成比
給与生活者	3,281件	33.7%
自営・自由	640件	6.6%
家事従事者	869件	8.9%
学 生	217件	2.2%
無 職	2,679件	27.5%
行 政	10件	0.1%
企業・団体	149件	1.6%
不明・無回答	1,887件	19.4%
合 計	9,732件	100.0%



(4) 市町村別件数

ア. 全県分

市町村	件数	市町村	件数	市町村	件数
盛岡市	3,450件	奥州市	1,287件	山田町	58件
宮古市	241件	滝沢市	353件	岩泉町	32件
大船渡市	241件	雫石町	86件	田野畑村	12件
花巻市	574件	葛巻町	23件	普代村	11件
北上市	481件	岩手町	69件	軽米町	31件
久慈市	109件	紫波町	190件	野田村	12件
遠野市	230件	矢巾町	153件	九戸村	27件
一関市	554件	西和賀町	17件	洋野町	42件
陸前高田市	71件	金ヶ崎町	74件	一戸町	77件
釜石市	203件	平泉町	45件		
二戸市	236件	住田町	18件	無回答・不明	562件
八幡平市	129件	大槌町	34件	合 計	9,732件

イ. 県民生活センター受付分

市町村	件数	市町村	件数	市町村	件数
盛岡市	1,136件	奥州市	188件	山田町	22件
宮古市	59件	滝沢市	189件	岩泉町	18件
大船渡市	52件	雫石町	50件	田野畑村	9件
花巻市	162件	葛巻町	11件	普代村	5件
北上市	122件	岩手町	33件	軽米町	7件
久慈市	27件	紫波町	96件	野田村	4件
遠野市	27件	矢巾町	77件	九戸村	2件
一関市	120件	西和賀町	12件	洋野町	9件
陸前高田市	27件	金ヶ崎町	46件	一戸町	9件
釜石市	23件	平泉町	16件		
二戸市	21件	住田町	7件	無回答・不明	151件
八幡平市	57件	大槌町	10件	合 計	2,804件

※相談者の居住地による集計であること。

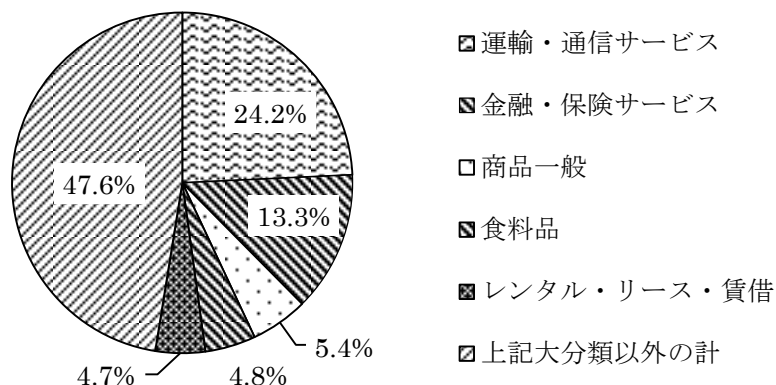
## (5) 処理結果（県受付分）

区 分	平成 27 年度		平成 28 年度		備 考
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	
他機関紹介	16	0.5	63	2.2	相談すべき窓口が消費生活センターでないもの
助言(自主交渉)	1,533	50.7	1,010	36.0	自主解決の方法をアドバイスしたもの (例)クーリング・オフ等の助言
その他情報提供	1,315	43.5	1,575	56.2	あっせん以外の処理で助言に該当しないもの (例)弁護士紹介、近くのセンターの紹介
あっせん解決	52	1.7	64	2.3	あっせんを行った結果解決したもの
あっせん不調	10	0.4	8	0.3	あっせんを行ったが解決しなかったもの
処理不能	19	0.6	30	1.1	何らかの物理的理由で処理できなかったもの
処理不要	67	2.2	54	1.9	相談者が情報提供のみで処理を望んでいないもの等
無回答(未入力)	11	0.4	0	0	
計	3,023	100.0	2,804	100.0	

## 2 消費生活相談の内容

### (1) 商品・サービス別件数（大分類）

- ・サービスに関する相談は 5,460 件（56.1%）、商品に関する相談は 2,712 件（27.9%）となっています。
- ・サービスに関する相談では、光回線、アダルトサイトなどの「**運輸・通信サービス**」に関する相談、多重債務、借金などの「**金融・保険サービス**」に関する相談が多くなっています。
- ・商品に関する相談では、「**商品一般**」に関する相談が多く、中でも不審な電話に関する相談が多くなっています。



【サービス別件数】

	件数	構成比	主な内容
クリーニング	25件	0.3%	衣類、カーテン等
レンタル・リース・貸借	459件	4.7%	賃貸アパート、借家等
工事・建築・加工	230件	2.4%	新築住宅、住宅リフォーム等
修理・補修	98件	1.0%	布団のリフォーム、パソコンの修理等
管理・保管	9件	0.1%	コインパーキング等
役務一般	78件	0.8%	複合サービス会員等
金融・保険サービス	1,297件	13.3%	多重債務、借金等
運輸・通信サービス	2,360件	24.2%	光回線、アダルトサイト等
教育サービス	40件	0.4%	奨学金、家庭教師等
教養・娯楽サービス	158件	1.6%	海外宝くじ、コンサートチケット等
保健・福祉サービス	338件	3.5%	還付金詐欺、医療サービス等
他の役務	338件	3.5%	冠婚葬祭互助会、司法書士等
内職・副業・ねずみ講	30件	0.3%	ネットワークビジネス等
サービス計	5,460件	56.1%	

【商品別件数】

	件数	構成比	主な内容
商品一般	530件	5.4%	不審電話・架空請求等
食料品	468件	4.8%	健康食品、サプリメント等
住居品	231件	2.4%	ミソ、水素水生成器等
光熱水品	65件	0.7%	電気、電気料金等
被服品	229件	2.3%	着物類、リュックサック等
保健衛生品	175件	1.8%	配置薬、化粧品等
教養娯楽品	444件	4.6%	新聞・携帯電話等
車両・乗り物	257件	2.6%	自動車等
土地・建物・設備	297件	3.1%	太陽光発電、土地等
他の商品	16件	0.2%	農機具、貴金属等
商品計	2,712件	27.9%	

【その他件数】

	件数	構成比	主な内容
他の行政サービス	364件	3.7%	還付金詐欺等
他の相談	1,196件	12.3%	相続、離婚等
その他計	1,560件	16.0%	

合計	9,732件	100.0%	
----	--------	--------	--

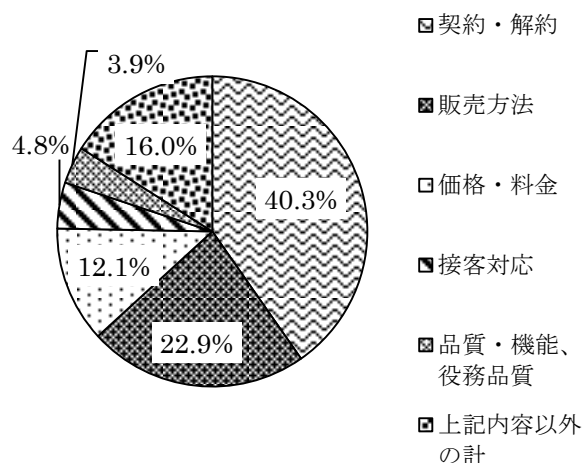


## (2) 内容別件数（一つの相談で複数項目の選択あり）

・相談の内容別では、「契約・解約」に関する相談が 6,401 件と最も多く、次に、「販売方法」に関する相談が 3,635 件、「価格・料金」に関する相談が 1,924 件となっています。

### 【内容別件数】

内容	件数 (件)	構成 比 (%)	内容	件数 (件)	構成 比 (%)
安全・衛生	239	1.5	接客対応	752	4.8
品質・機能、 役務品質	616	3.9	包装・容器	6	0.0
法規・基準	371	2.3	施設・設備	28	0.2
価格・料金	1,924	12.1	買物相談	34	0.2
計量・量目	14	0.1	生活知識	36	0.2
表示・広告	445	2.8	その他	192	1.2
販売方法	3,635	22.9	無回答	1,196	7.5
契約・解約	6,401	40.3	合計	15,889	100.0



## (3) 年代別における相談の多い商品・サービス（中分類）

・20歳未満から60歳代までの各年代において、パソコンや携帯電話におけるアダルトサイトやデジタルコンテンツ料金等の「放送・コンテンツ等」の相談が最も多くなっています。

・「放送・コンテンツ等」、「融資サービス」（フリーローン、サラ金等）、「インターネット通信サービス」（インターネット接続回線等）に関する相談は、ほとんどの年代で上位に入っています。

・70歳以上では、「他の行政サービス」（還付金詐欺、行政をかたる不審電話等）に関する相談が最も多くなっています。

### 【20歳未満 158件】

	1位	2位	3位	4位	5位
28年度	放送・コンテンツ等 97件	相談その他 8件	健康食品 7件	化粧品 5件	書籍・印刷物 3件
主な内容	アダルトサイト、オンライン ゲーム等	雇用・労働相談 等	健康食品等	化粧品等	書籍・印刷物等

【20 歳代 748 件】

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
28 年度	放送・コンテンツ等 151 件	融資サービス 107 件	レンタル・リース・貸借 65 件	移動通信サービス 42 件	四輪自動車 40 件
主な内容	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン・キャッシング等	賃貸アパート等	携帯電話サービス等	普通・小型自動車等

【30 歳代 978 件】

	1 位	2 位	3 位	4 位	4 位
28 年度	放送・コンテンツ等 172 件	融資サービス 135 件	レンタル・リース・貸借 59 件	役務一般 58 件	インターネット通信サービス 58 件
主な内容	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン・キャッシング等	賃貸アパート等	複合サービス会員等	インターネット接続回線等

【40 歳代 1,355 件】

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
28 年度	放送・コンテンツ等 277 件	融資サービス 193 件	インターネット通信サービス 85 件	商品一般 65 件	レンタル・リース・貸借 63 件
主な内容	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン・キャッシング等	インターネット接続回線等	架空請求等	賃貸アパート等

【50 歳代 1,328 件】

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
28 年度	放送・コンテンツ等 262 件	融資サービス 161 件	インターネット通信サービス 112 件	レンタル・リース・貸借 67 件	商品一般 66 件
主な内容	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン、キャッシング等	インターネット接続回線等	賃貸アパート等	架空請求・不審電話等

【60 歳代 1,506 件】

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
28 年度	放送・コンテンツ等 231 件	融資サービス 152 件	インターネット通信サービス 141 件	商品一般 82 件	相談その他 66 件
主な内容	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン、キャッシング等	インターネット接続回線等	架空請求、不審電話等	債権回収・アンケート調査等

【70歳以上 1,953件】

	1位	2位	3位	4位	5位
28年度	他の行政サービス 209件	商品一般 146件	放送・コンテンツ等 140件	融資サービス 112件	インターネット通信サービス 106件
主な内容	還付金詐欺、行政をかたる不審電話等	架空請求、不審電話等	アダルトサイト、デジタルコンテンツ等	フリーローン・サラ金等	インターネット接続回線等

#### (4) 相談の多い販売購入形態

- ・「店舗購入」が2,419件、「通信販売」が2,344件と多く、この2つで相談全体の49.0%を占めています。
- ・「店舗購入」では、フリーローン・サラ金、不動産賃借等の相談が多くなっています。
- ・「通信販売」では、パソコンや携帯電話のデジタルコンテンツ料金に関する相談が最も多くなっています。
- ・「電話勧誘販売」では、インターネット接続回線に関する相談が最も多くなっています。
- ・「訪問販売」では、複合サービス会員、新聞に関する相談が多くなっています。

#### 【販売購入形態別件数（上位5位）】

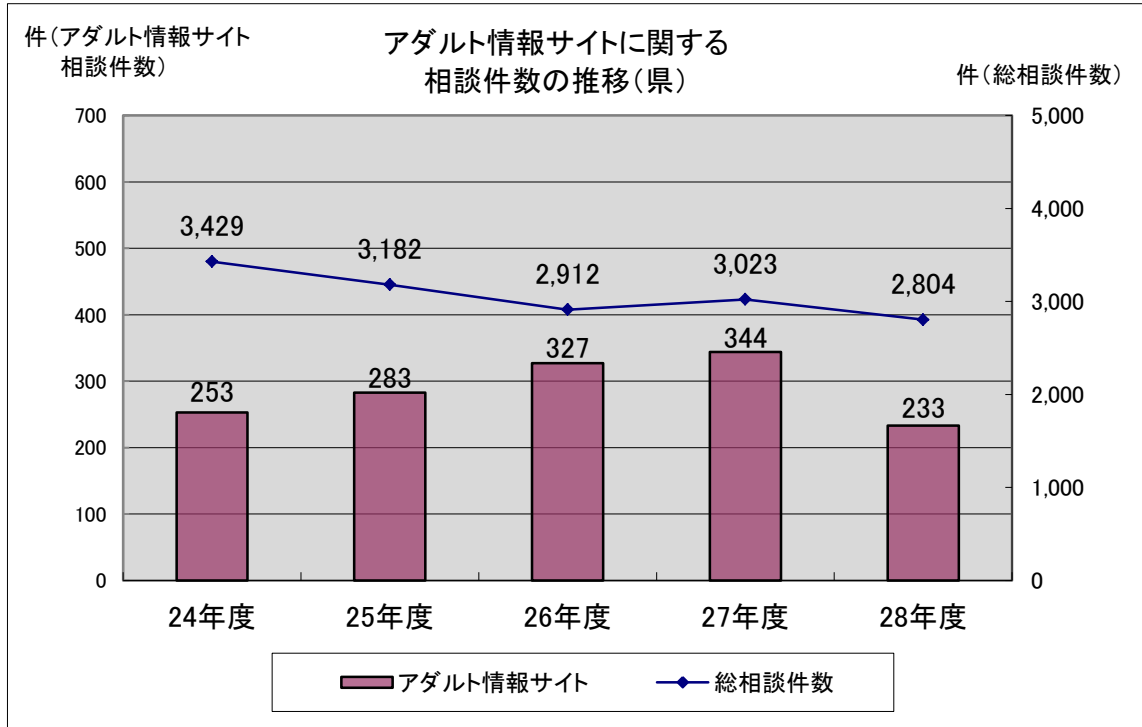
	28年度		
	件数	構成比	うち商品・サービス別 (中分類上位3位)
1位	店舗購入 2,419件	24.9%	① フリーローン・サラ金 470件 ② 不動産賃借 287件 ③ 四輪自動車 141件
2位	通信販売 2,344件	24.1%	① デジタルコンテンツ 1,241件 ② 商品一般 125件 ③ 他の健康食品 68件
3位	電話勧誘販売 1,177件	12.1%	① インターネット接続回線 427件 ② 他の行政サービス 199件 ③ 商品一般 83件
4位	訪問販売 542件	5.6%	① 複合サービス会員 49件 ② 新聞 47件 ③ 工事・建築 39件
5位	マルチ・マルチまがい 91件	0.9%	① ファントム型投資商品 16件 ② 商品一般 14件 ③ 他の健康食品 10件
—	不明・その他 3,159件	32.4%	
	合計 9,732件		

【参考資料】

○ 注視する相談内容（県センター受付分）

(1) アダルト情報サイト

- ・インターネットの「アダルト情報サイト」に関する相談は 233 件で、前年度の 344 件に比べて、111 件、32.3%減少しましたが、依然として高水準です。
- ・契約当事者の男女別では、男性が 150 件（構成比 64.4%）、女性が 80 件（構成比 34.3%）となっており、年代別では、50 歳代が最も多く、次いで 40 歳代となっています。



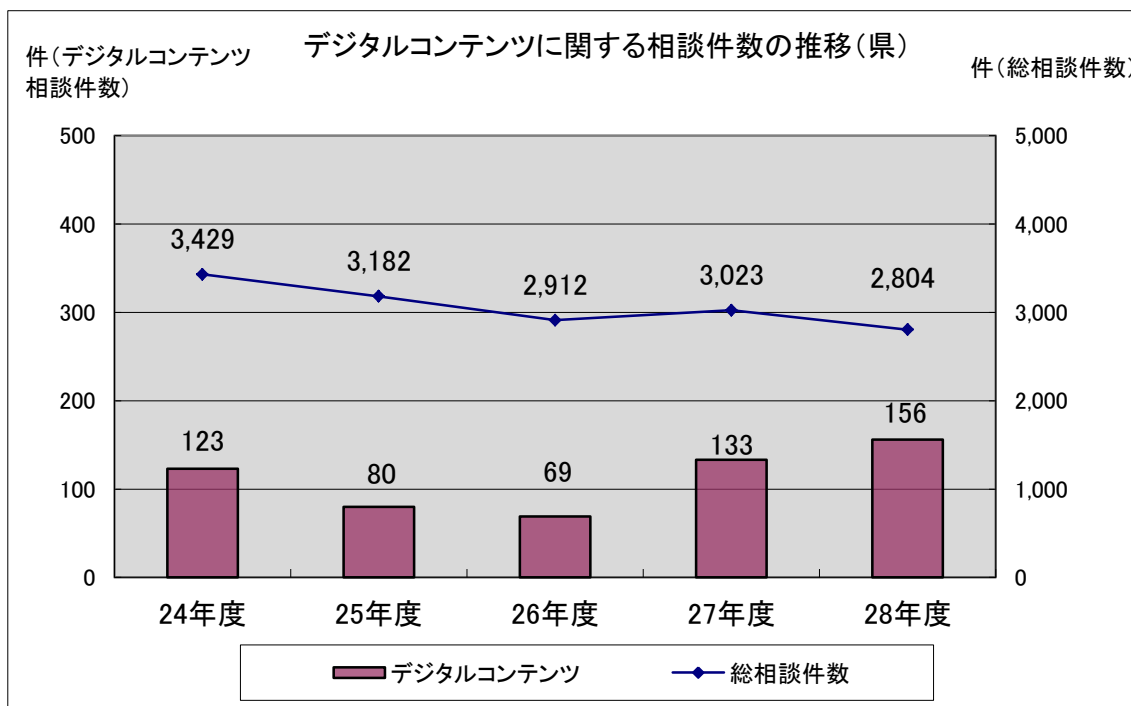
【アダルト情報サイト男女別、年代別件数】

	27 年度		28 年度	
	件数	構成比	件数	構成比
男性	222 件	64.5%	150 件	64.4%
うち、年代別上位3位	1位 60歳代 50件 2位 50歳代 46件 3位 40歳代 35件		1位 50歳代 37件 2位 60歳代 30件 3位 40歳代 20件	
女性	115 件	33.4%	80 件	34.3%
うち、年代別上位3位	1位 40歳代 38件 2位 20歳代 23件 3位 30歳代 22件		1位 40歳代 20件 2位 20歳代 17件 3位 10歳代 15件	
不明・無回答	7 件	2.0%	3 件	1.3%

	27 年度				28 年度			
	上位3位			構成比	上位3位			構成比
年代別	1位	40歳代	75件	21.8%	1位	50歳代	47件	20.2%
	2位	60歳代	57件	16.6%	2位	40歳代	40件	17.2%
	3位	50歳代	55件	16.0%	3位	60歳代	34件	14.6%

## (2) デジタルコンテンツ

- ・映像や画像などの「デジタルコンテンツ」に関する相談（「アダルト情報サイト」に関する相談を除く。）は156件で、前年度の133件に比べて23件、17.3%増加しました。
- ・契約当事者の男女別では、男性が71件（構成比45.5%）、女性が83件（構成比53.2%）となっており、年代別では、50歳代が最も多く、次に60歳代、40歳代となっています。



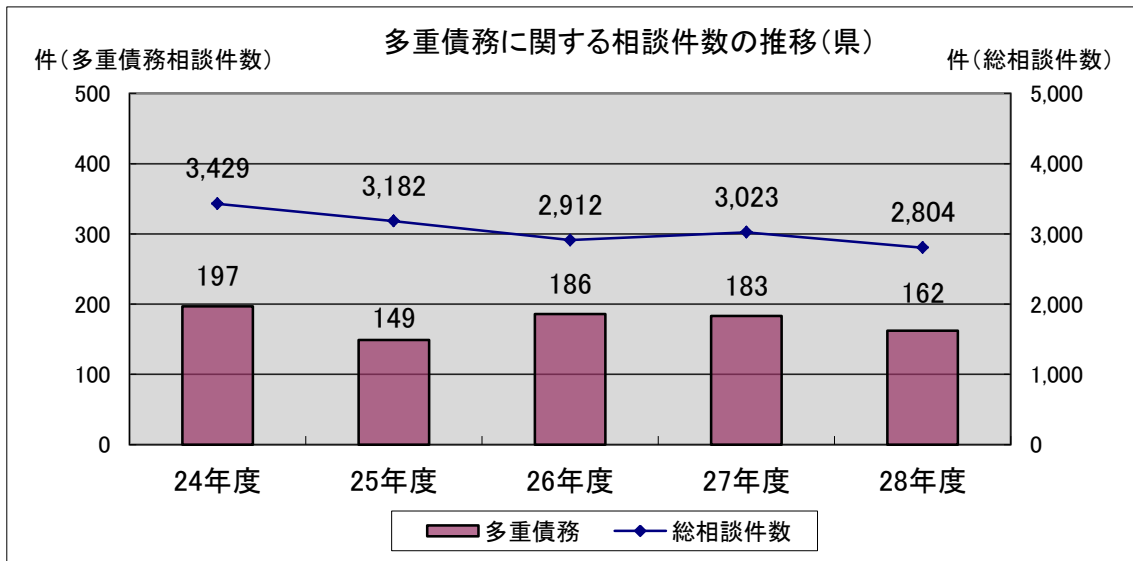
### 【デジタルコンテンツ男女別、年代別件数】

	27年度		28年度	
	件数	構成比	件数	構成比
<b>男性</b>	52件	39.1%	71件	45.5%
うち、年代別上位3位	1位 70歳代 11件 1位 50歳代 11件 3位 60歳代 10件		1位 50歳代 17件 1位 60歳代 17件 3位 40歳代 11件	
<b>女性</b>	81件	60.9%	83件	53.2%
うち、年代別上位3位	1位 50歳代 22件 2位 40歳代 20件 3位 60歳代 11件		1位 50歳代 27件 2位 60歳代 18件 3位 40歳代 13件	
不明・無回答	0件	0%	2件	1.3%

	27年度				28年度			
	上位3位			構成比	上位3位			構成比
年代別	1位	50歳代	33件	24.8%	1位	50歳代	45件	28.8%
	2位	40歳代	29件	21.8%	2位	60歳代	35件	22.4%
	3位	60歳代	21件	15.8%	3位	40歳代	24件	15.4%

### (3) 多重債務

- ・「多重債務」に関する相談は162件で、前年度の183件に比べて、21件、11.5%減少しました。相談総件数に占める割合も、5.8%と前年度の6.1%に比べて減少しました。
- ・契約当事者の男女別では、男性が91件（構成比56.2%）、女性が68件（構成比42.0%）となっており、年代別では40歳代が最も多く、次いで30、50歳代となっています。



#### 【多重債務男女別、年代別件数】

	27年度		28年度	
	件数	構成比	件数	構成比
<b>男性</b>	105件	57.4%	91件	56.2%
うち、年代別上位3位	1位 30歳代 30件 2位 20歳代 20件 3位 40歳代 18件 3位 50歳代 18件		1位 40歳代 17件 2位 30歳代 16件 2位 50歳代 16件	
<b>女性</b>	71件	38.8%	68件	42.0%
うち、年代別上位3位	1位 40歳代 16件 2位 30歳代 11件 2位 50歳代 11件		1位 40歳代 16件 2位 30歳代 11件 3位 50歳代 10件 3位 20歳代 10件	
<b>不明・無回答</b>	7件	3.8%	3件	1.8%

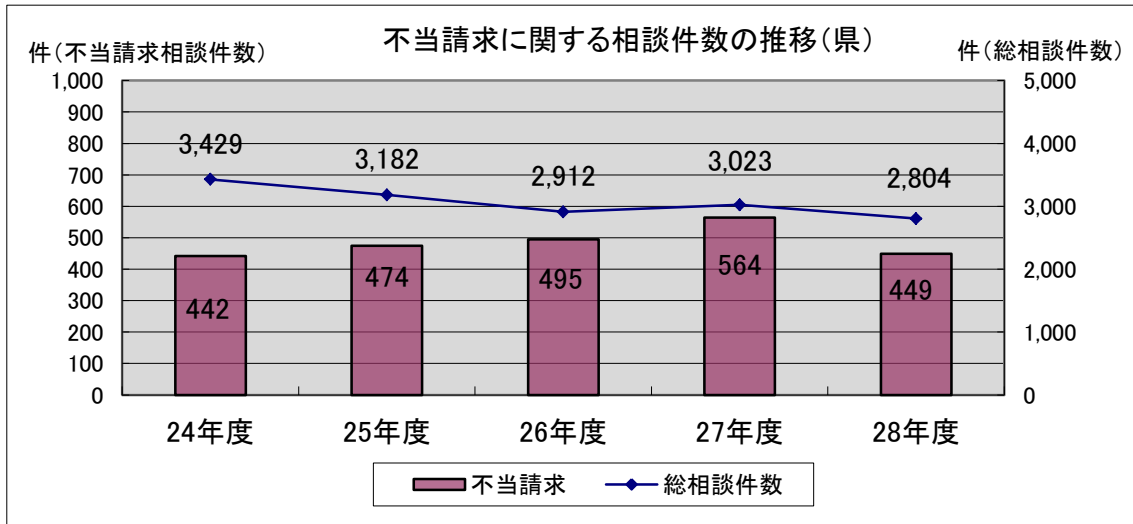
	27年度				28年度			
	上位3位			構成比	上位3位			構成比
<b>年代別</b>	1位	30歳代	41件	22.4%	1位	40歳代	33件	20.4%
	2位	40歳代	34件	18.6%	2位	30歳代	27件	16.7%
	3位	50歳代	29件	15.8%	3位	50歳代	26件	16.0%

#### (4) 不当請求

・パソコンや携帯電話のアダルトサイトなどにおいて、契約が成立したとは言えないにもかかわらず料金を請求するワンクリック請求など、「不当請求」に関する相談は449件で、前年度の564件に比べ、115件、20.4%減少しましたが、総相談件数の16.0%を占めており（前年度18.7%）、**いまだ多くの相談が寄せられています。**

・契約当事者の男女別では**男性が255件（構成比56.8%）、女性が188件（構成比41.9%）**となっており、年代別では**50歳代が最も多く、次いで60歳代、40歳代**となっています。

・商品・サービス別（小分類）では、「**アダルト情報サイト**」が233件で、**不当請求の51.9%**を占めており、次いで、携帯電話のコンテンツ利用料などの「**デジタルコンテンツ**」が156件となっています。



#### 【不当請求男女別、年代別件数】

	27年度		28年度	
	件数	構成比	件数	構成比
<b>男性</b>	314件	55.7%	255件	56.8%
うち、年代別上位3位	1位 60歳代 72件 2位 50歳代 62件 3位 40歳代 57件		1位 50歳代 58件 2位 60歳代 51件 3位 40歳代 33件	
<b>女性</b>	241件	42.7%	188件	41.9%
うち、年代別上位3位	1位 40歳代 68件 2位 30歳代 39件 3位 50歳代 38件		1位 40歳代 37件 2位 50歳代 34件 3位 30歳代 26件	
<b>不明・無回答</b>	9件	1.6%	6件	1.3%

	27年度				28年度			
	上位3位			構成比	上位3位			構成比
<b>年代別</b>	1位	40歳代	128件	22.7%	1位	50歳代	94件	20.9%
	2位	50歳代	100件	17.7%	2位	60歳代	72件	16.0%
	3位	60歳代	95件	16.8%	3位	40歳代	70件	15.6%

## ○ 相談事例（県センター受付分）

### 【アダルト情報サイト】

・パソコンでアダルトサイトに入り、年齢確認で20歳以上をクリックしたら突然、登録画面になった。画面に出ていた窓口に電話をしたら正規の手続きで登録されているので支払義務があるとして金額を請求された。法人名義の振込先を指定され、入金がなければ訴訟を提起すると言われた。

自分はサイトに登録した覚えはない。

・タブレットでアダルトサイトに入り、動画を再生しようとしたら、3万円の料金請求画面が出て消えなくなってしまった。請求画面を消すためには、画面の指示にあるとおり3万円を支払わなければならないのか。

### 【デジタルコンテンツ】

・サイトの中でアドレスの交換をしてチャットをしていた。1通につき400円、3通で1,000円ということだった。相手とメールのやり取りを続けていくうちに、気がついたら1カ月7万円も振り込んでいた。どうしたらよいのだろう。

・1年ほど前から女性とチャットできる有料のサイトを利用し、毎月5千円位をコンビニの電子マネー支払いで利用を続けてきた。ある女性から、癌で余命少ないと告白された。「亡くなった後は遺産の2億円で支援財団を作って社会に役立つようにしたい。一部（2,400万円）をあなたにも残したい。亡くなった後に弁護士から連絡が行くようにしておくので、受け取ってほしい。」とメールがあった。その後、「女性が亡くなったので2,400万円を受け取ってほしい。」と弁護士から連絡があった。受け取るための手続きは寄付取扱い窓口からの連絡に従うようにとのこと。窓口から事務手数料の支払いを指示され、コンビニでプリペイド式電子マネー23万円分を買いIDを伝えた。ところが、その後連絡が取れなくなってしまった。2,400万円の受け取りはあきらめるにしても、事務手数料として支払った金額を返してほしい。



## 【 多重債務 】

- ・ 夫は住宅ローンの他に銀行のカードローンやサラ金からの借入れがある。夫は退職金が出たら払えるからというが不安だ。  
借入れの内容は詳しく教えてもらっていない。住宅ローンが残りいくらなのかわからない。夫名義の通帳にカードローンがついていて、20年以上前から50万円の枠内で利用を続けている。  
10年ほど前に一旦完済をしたが、また徐々に借入れが増えて、現在は限度額いっぱいでの利息のみ払っている状態。

- ・ 家計管理はずっと妻に任せており、私名義のカードも全て妻に預けていた。昨日、妻に借金のことを打ち明けられた。クレジットカードでキャッシングやショッピングをしているうちに、生活費の補てんや実家のリフォーム代、病気がちな妻の医療費代なども重なり、20年間で借金が徐々に膨らんだようだ。サラ金からも借りるようになり、今では私名義の借金の総額が500万円以上になった。サラ金の返済は金利だけにしてもらっているにもかかわらず、月の返済額が10万位になった。いくら返済しても残金が減らず、妻は一人で悩んでいたようだ。できれば自己破産はしたくないが、他に債務整理の方法があるだろうか。

## 【 不当請求 】

- ・ SNSで「有料サイト閲覧がある。料金を支払わないと裁判を起こす。」と言われ、怖くなってこちらから連絡してしまった。裁判を止めるための手続きとして6万円支払うように言われたので、指示されるままコンビニでプリペイドカードを買ってSMSで番号を教えた。このお金は後から戻ってくるようなことを言っていた。支払いを済ませたら知らせるように言われていたので再度電話した。今度は20万円の請求をされた。詐欺なのか。

- ・ 昨日、スマホに閲覧サイトの未納があるというSMSメールがあり、連絡先に電話した。すると「1年前にアダルトサイトを登録したのに料金が未払いだ、料金はうちが肩代わりしている。このまま支払をしないと裁判にする」と言われた。登録した覚えがないと伝えると、登録になったか調査できる機関を紹介された。調査の結果、アダルトサイトには登録になっていないが、数日後返金されるので一旦料金を支払うようにと言われた。指示されるまま複数のコンビニを回り、40万円分のプリペイドカードを購入し電話でカードの番号を教えた。調査機関から、それ以外にも2つのサイトに登録されており料金は70万円だが、いくらなら払えるのかと電話があり、今日50万円を同じようにプリペイドカードを購入し番号を教えた。調査機関に氏名と住所を話した。これ以上請求されても支払えない。

